

R8. 1. 1

商工あしべつ

第 759 号

E-mail : ashicci@cocoa.ocn.ne.jp
URL : https : //www.ashibetsu-cci.or.jp

発行所

芦別商工会議所

芦別市南1条東1丁目10の6

TEL(0124)22-3444(代表)

発行責任者 林 秀 樹

毎年1・4・7・10月の1日発行



年頭所感

芦別商工会議所
会頭 林 秀 樹

新年あけましておめでと
うございます。

令和8年の新春を迎え、
謹んでお慶び申し上げます。

会員の皆様におかれまし
ては、日頃より、芦別商工
会議所の運営並びに事業活
動につきまして多大なるご
支援ご協力を賜り厚く御礼
申し上げます。

さて、昨年は第26期芦別
商工会議所議員選挙・選任
の年であり、役員改選も行
われたところですが、5期
15年に渡って会頭職を務め
られた坂田憲正氏が任期満
了で退任され、私が会頭の
任をお引き受けすること
となりました。芦別市におき
ましても、2月の市長選挙
で新たに北村真市長が誕生
したことから、共に地域振
興や経済活性化の課題に取
り組み、力を尽くしてまい
りたいと考えております。

わが国の現状に目を転じ
ますと、7月20日執行の第
27回参議院議員通常選挙に
おいて、政権与党であった
自由民主党と公明党が議席
を減らし、参議院でも過半
数割れとなったことで、自
由民主党と日本維新の会の
新たな連立により高市早苗
内閣が誕生しましたが、依
然として少数与党による政
権運営が続いています。こ
の様な中で、ウクライナや
中東での紛争の長期化によ
り、エネルギー価格や物価
の高騰は終息が見通せない
状況となっており、人材不
足や人件費高騰なども重な
って、地方の中小企業及び
小規模事業者の経営は、厳
しい状況が続いております。

一方で、サッカーの日本
代表が、3月20日に202
6年北中米ワールドカップ
アジア最終予選でバーレー
ンに勝利し、世界最速で本
大会出場を決めたほか、M
LBでは、大谷翔平選手や
山本由伸投手などの活躍で
ドジャースがワールドシリ
ーズを連覇し、加えて大谷
翔平選手が4度目の満票で
のMVPに輝くなど、国民
に勇気や元気をもたらして
くれる出来事も数多くあり
ました。

迎えた新年におきまして
は、各種事業や経済活動な
どについて、新たな社会環
境に対応しつつ、より一層
の高みを目指すべく、取り
組みを進めていかなければ
ならないと考えており、昨
年10月、芦別市及び芦別市
議会に対して施策と予算の
要望を行ったところです。

地域の発展・産業経済に関する
事項で「市総合庁舎建設の
検討再開」及び「なまこ山
総合運動公園等の指定管理
者による一体管理」の2項
目について、観光・イベン
トに関する事項では「北海
道観光振興拠点としての三
段滝エリアの整備要望」及
び「星の降る里百年記念館
の指定管理者による道の駅
との一体管理」の2項目に
ついて要望し、意見交換を
行ったところです。

本市の地域経済を再生し
ていくため、当所は地域の
中小企業・小規模事業者の
皆様に寄り添い、国や道な
どの制度活用への支援と各種
情報提供を行うとともに、
市条例に基づいて当所が設
置した「芦別市地域経済円
卓会議」の意見を伺いつつ、
市、市議会、関係機関、団
体等と連携・協力しながら
執り進めてまいりたいと考
えております。

本年も会員各位のご支援
ご協力を賜りますとともに、
会員企業の益々のご繁栄と
皆様のご健勝ご多幸を心か
ら祈念いたしまして、年頭
のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

会頭 林 秀 樹
副会頭 嶋 大 輔
専務理事 関 誠
常務理事 谷 誠
監事 山田 孝 一
伊藤 良 光
野崎 敦 男
門崎 明 二
高岡 祐 一
石岡 秀 大
定岡 一 明
榎井 樹 一
坂井 道 正
柳瀬 寛 貴
澤山 英 好
茶山 隆 史
鈴木 好 史
仲村 敏 道
大村 正 貴
伊藤 賢 数
斎藤 幸 郎
水口 弘 一
菅原 二 広
沼田 孝 二
田中 男 一
片岡 美 二
吉田 友 美

喪中につき年賀の
ご挨拶は失礼致します。

副会頭 津 寿 一
常務理事 大 敦
議事録 山 佳 弘
瀧田 貴 弘

年頭にあたって



芦別市長 北村 真

芦別商工会議所会員の皆さま、新年明けましておめでとうございます。輝かしい新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

私は昨年2月に第9代芦別市長として就任以来、その重責に改めて身の引き締まる思いを抱きつつ、市民の皆様の声に耳を傾け、「市民が主役のまちづくり」の実現に向け、市政運営に取り組んでいるところであります。市民の皆様には、市政各般にわたり、格別のご理解、ご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、株式会社芦別RIC Eが海外に向けたコメの輸出事業などの取組が高く評価され、令和7年度農林水産祭の多角化経営部門において、最高位である天皇杯を受賞するという大変名譽で喜ばしい出来事がありました。

一方、全国的にクマによる人身を含む被害が多発し、本市でもヒグマが芦別小学校付近に出没するなど、人身被害には至らなかったものの目撃件数は増加しており、被害を防止するための対策を強化する施策を講じ

る必要性を強く感じたところでです。

また、28年余りの長きにわたり市外への購買力の流出抑制と市内商店街の活性化に寄与してきました芦別ポイントカード協同組合発行の「Aカード」が多くの皆様に惜しまれつつ、4月末をもって事業終了となりました。

12月8日には、青森県東方沖で地震が発生し、本市でも震度3を記録するなど、改めて日頃からの防災意識を高めておくことの重要性を認識させられたところであります。被災されました皆様には謹んでお見舞いを申し上げます。

市政におきましては、ふるさと納税において米価の高騰や芦別産米の早期予約受付などが功を奏し、返礼品のお米に全国から4万件以上のご注文をいただき、過去最高の約16億円にのぼる寄付額を記録したほか、DXの推進では、2月から実施した各種証明書を取得できるコンビニ交付サービスや11月から実施している各種申請書の「書かない窓口」を市役所1階市民環境課と税務課窓口へ導入するなど、マイナンバーカードを利用した市民サービスの

デジタル化を推進してまいりました。

これらに加え、物価高騰に対する市民生活支援や事業者支援として、住民税非課税世帯への支援金を3月に給付し、上下水道料金の家事用と業務用の基本料金を6月から8月までの3か月分減免したほか、原油価格や物価高騰が長期化する中で、市民負担の軽減、消費費の下支えと活性化を図るため、全世帯に1万円ずつ市民生活応援商品券を11月に発行しました。

また、生徒数の減少が続く芦別高等学校の確かな存続を図るために北海道教育委員会などと協議を重ね、来年度から地域連携校の指定を受けることが決定したところでです。

市内企業への就職促進対策では、貴所との共催による高校生を対象とした「合同企業説明会」の開催のほか、市外の高等学校や札幌市近郊の大学にも訪問を行い、U・I・Jターナー者や新規学卒者が市内企業に就職された場合の「ふるさと就職奨励金制度」や移住・定住促進策として、市内の民間住宅等に定住のため転入された方を対象に、家賃を最大で5年間支援する「賃

貸住宅家賃助成制度」の周知を行いながら、人材確保のための取り組みを進めてまいりました。

今後、貴所との連携により商業の活性化に資する事業の実施をはじめ、産業の振興発展を目指し、企業振興奨励金及び企業振興事業補助金などの諸制度を活用して支援強化を図るほか、後継者の確保や市民生活を守るため、事業承継促進事業補助金の活用や関係機関と連携し、「事業承継」への取り組みを推進するとともに、各産業や物流の基盤となる一般国道452号、主要道道芦別美瑛線の整備促進等に加えて、主要道道美唄富良野線的全線開通に伴う三段滝公園周辺の駐車場やトイレを含めた休憩施設の整備促進等についても引き続き国や道等関係機関への積極的な要望活動を展開してまいります。

このほか、市内での消費促進と景気浮揚策として、地域限定商品券「どんぐり」の発行事業をはじめとした貴所の各種事業に寄与してまいります。

さて、迎えた本年も厳しい社会経済情勢が予想されますが、未来輝く芦別のために、「地域資源を活かしたまちづくり」、「持続可能なまちづくり」、「輝く人々が創るまちづくり」の実現に向けて全力を尽くしてまいります。

結びに今年一年が会員の皆様にとりまして、希望に満ちた素晴らしい年となりますことを、心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭所感

変革と価値共創による日本経済の再出発

日本商工会議所

会 頭 小 林 健



明けましておめでとうございます。

2026年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

【成長の果実を賃金や投資へ】さて、昨年の世界情勢は、ロシアによるウクライナ侵略の長期化や中東情勢の緊迫化といった地政学リスクに加え、関税・輸出管理・産業補助・投資審査などが複合的に作用し、通商環境の再編が進行するなど、不確実性が一段と高まった一年でありました。

国内に目を向けますと、日本経済は賃金と物価の好循環に向けた兆しが明確になりつつありますが、依然として物価上昇に賃金が追いつかず、実質賃金の着実な回復が最大の課題です。

長年にわたり染みついた「デフレマインド」を払拭し、成長の果実を賃金や投資へ確実に循環させることこそ、日本経済の「再出発」に向けた最大の鍵であります。

こうした中、国政においては、憲政史上初の女性総理として高市総理が誕生し、就任直後からトランプ米大統領をはじめ各国首脳との会談を精力的に行い、首脳間の信頼醸成に努めてこられました。また、高市総理が議長を務める「日本成長

戦略会議」におきましても、AI・半導体、造船、量子など17の戦略分野への投資に加え、人的資本の強化、労働市場改革、スタートアップ支援、賃上げ環境整備など、将来の成長力を高める政策課題が明確に示されました。国の成長戦略と歩調を合わせつつ、民間の現場から具体的な提言と実行を積み重ねていくことが、私どもの責務であります。

【成長型経済への転換を確固たるものに】「変革」と「価値共創」

わが国の経済は、成長型経済への移行に向けた正念場を迎えています。しかし、企業数の99.7%、雇用の約7割（3大都市圏を除くと約9割）を占める中小企業は、円安・原油高に伴う原材料・エネルギー価格などの高騰、人手不足や労務費の増加、さらには消費低迷など多くの課題に直面しています。

成長型経済への転換を確固たるものとするためには、個々の企業が自己変革を果たし、変化する外部環境に適応していくなど、絶えず「変革」に挑み続ける姿勢が重要です。同時に、不確実性の時代においては、多様な主体が互いの強みを持

ち寄り、新たな価値を共に創り、共に分かち合う「価値共創」の発想こそが、これからの日本経済を支える基盤になると確信しています。

【変革と価値共創による日本経済の再出発】に向けた三つの重点課題

こうした考えから、私は今期のスローガンとして「変革と価値共創による日本経済の再出発」を掲げました。このスローガンの下、以下の3点を重点課題として当所の運営に取り組んでまいります。

1点目は「成長型経済の実現に向けた環境整備」です。成長型経済を実現するには、コストプッシュ型インフレから、需要拡大によるデマンドプル型インフレへと転換し、賃金と投資の好循環を持続させる必要があります。そのためには、適切な価格転嫁と取引適正化の推進は、賃上げ原資を確保する観点から官民を挙げて一層強化すべき課題です。加えて、経済安全保障とエネルギー安全保障の両立、過度な円安の是正に向けた金融政策、人手不足への対応、持続可能な全世代型社会保障制度の構築につ

きまして、引き続き要望

してまいります。

2点目は「変革と価値共創による中小企業・小規模事業者の『稼ぐ力』の強化」です。成長型経済の実現には、中小企業・小規模事業者の付加価値と生産性の向上が不可欠であり、新分野進出、DX・GXの推進、知的財産の創造・保護・活用、海外展開、スタートアップとの連携などへの挑戦が求められます。また、事業承継を契機として、より強く魅力ある企業へと生まれ変わることが重要です。

3点目は「地域の稼ぐ力の向上による地域経済循環の推進」です。持続可能な観光地域づくり、地域に新たな投資を呼び込むためのインフラ整備や税財政支援、地域の産業を担う人材の確保・育成支援が求められます。いずれも商工会議所の主要な活動テーマであり、当所はもとより、各地商工会議所が中核となって取り組まれることを心より期待いたします。

【「現場主義・双方向主義」の発展】

私は「原点は対話である」という信念の下、会頭就任以来、全国各地を訪問し、地域や事業者の生の声を伺い、各地域が抱える課題の把握に努めてまいりました。今後は「現場主義・双方向主義」をさらに発展させ、現場の声に真摯に向き合いながら、中小企業と地域の活性化、日本経済のさらなる成長に向けて、皆さまと共に全力を尽くしてまいります。皆さまの多大なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭所感



北海道商工会議所連合会
会 頭 安 田 光 春

令和8年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。昨年12月、北海道商工会議所連合会第11代会頭に就任いたしました。

地域の皆様から寄せられる期待の大きさも改めて感じ、一層身の引き締まる思いであります。併せて、商工会議所が地域に果たすべき役割の大きさを認識し、その使命である「地域経済の活性化」と「中小企業の活力強化」に、全力で取り組む決意を新たにいたしました。

り、その言葉通り、北海道経済の発展と地域の未来のために全力を尽くして参ります。

第34期では、次の3本の柱を掲げ、全道42商工会議所の皆様と共に、事業を展開して参ります。

1 「持続可能性向上による地域課題の克服」

全国よりも10年早く人口減少が進み加速していく中、地域の経済活動・生活インフラの持続可能性を高めることが喫緊の課題であります。

2 「成長戦略実現による稼ぐ力の向上」

北海道経済を力強く支えるためには、「稼ぐ力」の強化が不可欠であります。

第1に、脱炭素化の流れを追い風とする再生可能エネルギー、次世代半導体、データセンター、航空宇宙など、成長産業の育成・地元企業の参画を促進して参ります。

第2に、北海道の強みである「食」と「観光」を軸とした競争力の強化であります。食の高付加価値化、海外需要の開拓、観光の通年化・広域化などを通じ、地域産業の更なる成長を力強く後押しして参ります。

さて、北海道を取り巻く環境は、人口減少、人手不足、産業構造の変化に加え、脱炭素化・デジタル化の進展など、大きな変革期を迎えております。

私たちは、これらの変化を「地域の未来を創るチャンス」と捉え、本連合会第34期の活動方針として、

「Leading the Challenge」地域と共に未来を創る」をテーマに掲げました。

「Leading the Challenge」には、「先頭に立ち課題解決に導く」「困難に立ち向かう」という意味が込められてお

札幌の4都市での分散開催に挑戦し、その魅力を広く情報発信していきたいと考えております。

3 「商工会議所の連携推進と経営支援体制の強化」

42商工会議所と共に「政策提言」や「広域プロジェクトの推進」を一層強化し、行政や関係機関とも連携を深めて参ります。

併せて、物価高騰対策、人材育成、事業承継、デジタル化支援、資金相談、補助金活用など、商工会議所が提供する支援は多岐にわたり高度化しております。

これらの質を高め、中小企業の伴走支援をより強固なものとするべく、経営指導員をはじめとした商工会議所職員の確保、経営支援体制の維持・拡充を図り、「商工会議所のプレゼンス向上」も図って参りたいと考えております。

以上、新年にあたり所感の一端を申し述べました。

地域総合経済団体である商工会議所は、地域を守り、企業を育て、雇用を支えながら、北海道創生に着実に歩みを進めて参ります。

皆様のより一層のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって実り多い素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



第105回臨時議員総会

会頭に林 秀樹氏(新任)を

満場一致で選任

副会頭に嶋 大輔氏(新任)

稲津寿一氏(再任)

専務理事に関谷 誠氏(再任)

を選任



芦別商工会議所議員の任期満了に伴う議員改選によつて、3号・2号・1号議員が選出され、去る、10月31日に役員選出のための第105回臨時議員総会が開催されました。

総会では、議案第2号の会頭の選任について審議が行われ、林秀樹氏(空知交通㈱代表取締役)が満場一致で承認決定されました。総会に出席した林氏は、

会頭職を承諾し「資材高騰や労働力不足などもあって市内は大変な状況にある。商工業の活性化を目指していくために、行政の力も借りながら、皆さんのご指導をいただき、やっていきたい

い。」と就任の挨拶を行い、協力を呼びかけました。

引き続き、第3号では副会頭に嶋大輔氏(嶋産業㈱代表取締役)、稲津寿一氏(医療法人仁恵会 中野記念病院 常務理事)を選任、

第4号では専務理事に関谷誠氏の再任を提案し、一同に諮ったところ、満場一致で承認されました。また、議案第5号・第6号の常議員、監事の選任については提出された原案で、一同に諮ったところ、満場一致で承認されました。

なお、会頭を5期15年務めた坂田憲正氏は、11月1日付で当所顧問に就任となりました。

令和8年度 芦別市施策・予算への要望実施

去る10月28日、当所の坂田会頭、林副会頭、関谷専務理事が芦別市役所市長室を訪問し、北村市長に令和8年度の芦別市施策及び予算への要望書を提出いたしました。

要望内容については地域振興・産業経済に関する事項2項目、観光・イベントに関する事項2項目、事業活動・運営に関する補助金等の要望について2項目をそれぞれ要望し、内容について懇談を行いました。なお、要望項目は次のとおりです。

I 施策に関する要望事項

- 地域振興・産業経済に関する事項
- 1. 市総合庁舎建設の検討再開
- 2. なまこ山総合運動公園等の指定管理者による一体管理

■観光・イベントに関する事項

- 1. 北海道観光振興拠点としての三段滝工リアの整備要望
- 2. 星の降る里百年記念館の指定管理者による道の駅との一体管理

II 事業活動、運営に関する補助金等の要望

- 1. 芦別商工会議所交付金
- 2. キラキラ☆フェスタあしべつ開催事業



令和7年度 合同企業説明会開催！



去る12月12日、「令和7年度 合同企業説明会」が芦別高校で開催されました。

当所が主催で芦別市と共催のもと、地元企業へ優秀な人材の確保を目的に毎年開催しており、説明会には地元企業15社に参加をいただき、芦別高校2年生23名の生徒が出席しました。

今年から実施方法を変更し、芦別高校産振棟にある4教室を使用し、参加企業と生徒をそれぞれ4つのグループに分け、各グループ内で1社ずつ順番に説明する形式で実施しました。生徒達は、各社からの説明にメモを取るなど熱心に耳を傾けていました。終了後、生徒達からは「とてもわかりやすく説明を受けられた」「知らなかった企業について知ることができた」「楽しかった。もっと色々な仕事を知りたいと思った」などの感想が寄せられ、地元企業の業務内容や働くことへの興味・関心が深まった様子でした。来年度以降も参加いただいた企業並びに生徒からいただいた意見を参考にして、より良い形での開催を検討して参ります。

キラキラ☆フェスタあしべつ実行委員会 総会を開催

去る10月7日、キラキラ☆フェスタあしべつ実行委員会総会が当商工会議所で開催され、役員・実行委員合わせて28名が出席しました。

総会では今年8月2日に開催された「キラキラ☆フェスタあしべつ2025」に関する事業報告、収支決算見込について協議され、原案のとおり承認されました。事業報告では各部会の部長をはじめ各代表者から当日の感想や来年に向けた課題などが発表され、今後は役員会を開催しながら来年の開催に向け取り組んでいくこととなります。



星の降る里あしべつ フォトコンテスト2025 表彰式 開催

去る10月30日、「星の降る里あしべつフォトコンテスト2025 表彰式」が当商工会議所において開催されました。

当商工会議所 観光振興委員会では「星の降る里あしべつフォトコンテスト2025 (一般部門・インスタ部門)」を今年も開催し、芦別の魅力が伝わる"撮ってあきの〇〇"を市内外から広く募集しました。その結果、一般部門に47作品、インスタ部門に71作品のご応募があり、審査会によって優秀な作品をそれぞれ12作品ずつ選定させていただきました。

表彰式には10名の受賞者の方々にご出席いただき、坂田会頭から表彰状と賞品が授与されました。なお、選定された作品は「星の降る里 芦別カレンダー2026」に使用され、商工会議所、道の駅スタープラザ芦別等で販売しております。(壁掛け1,000円、卓上500円、ともに税込金額)

また、それに合わせて11月15日～12月14日の期間、星の降る里百年記念館において今回ご応募いただいた全作品の展示会も開催され、期間中は多くの方々に足を運んでいただきました。



金融懇談会を開催

去る12月16日、株式会社日本政策金融公庫札幌北支店国民生活事業と当商工会議所による「金融懇談会」が開催されました。

懇談会には、株式会社日本政策金融公庫札幌北支店国民生活事業から支店長 鈴木卓氏、融資第二課長 佐藤修氏、融資第二課 山田泰生氏を招き、当所からは、三役と金融特別委員会委員長・副委員長・事務局の7名が出席して行われました。

鈴木支店長から挨拶の後、佐藤融資第二課長から公庫の業務内容、実績等について説明をいただき、終了後には出席者同士による意見や情報交換が活発に行われ、金融懇談会を終了しました。



令和7年分 決算説明会開催

去る12月5日、当商工会議所の大会議室において「令和7年分 決算説明会」が開催されました。

講師に滝川税務署 個人課税部門の担当官にお越しいただき、1年間の記帳の締めくくりとなる決算の時期が近づき、決算にあたっての留意事項等について説明をいただきました。



新たなルールに注意が必要です！

令和8年1月1日から、「下請法」は「取適法(トリテキ法)」に変わります。取適法施行(令和8年1月1日)に伴い、同日以降に発注した取適法適用対象取引では、新たに以下の行為が禁止されます。

●協議に応じない一方的な代金決定の禁止

中小受託事業者からの価格協議の求めに応じずに、一方的に代金を決定することは**違反になります**。

●手形払等の禁止

- ・手形による代金の支払いは違反になります(「支払遅延」に該当)。
- ・電子記録債権やファクタリングを使用する場合にも、支払期日(最長で、発注した物品等を受領した日から起算して60日以内)までに代金満額相当の現金を得ることが困難なものは**違反になります(「支払遅延」に該当)**。

例えば、以下の場合には取適法に違反することとなります。

- ①製造委託等代金の支払期日より後に満期日が到来する場合に中小受託事業者において割引を受ける等の行為が必要なとき
- ②中小受託事業者に受取手数料等の負担が生じるとき

●振込手数料を負担させることの禁止

中小受託事業者との合意の有無にかかわらず、振込手数料を中小受託事業者に負担させ、製造委託等代金から差し引くことは**違反になります(「減額」に該当)**。

取適法の詳細は、公正取引委員会の特設サイトをご覧ください。



〔令和7年度〕会員従業員表彰授与式開催

去る11月27日、当商工会議所大会議室において、令和7年度芦別商工会議所会員従業員表彰授与式が行われました。

毎年、当商工会議所では、会員従業員表彰規程に基づき企業における従業員の功績や勤続及び善行に対し表彰を行っており、芦別市優良勤労者等表彰との合同で開催しております。

授与式には受賞者と事業所の代表者が出席して開催され、今年は申請のあった会員事業所のうち、日本商工会議所会頭と当商工会議所会頭の連名で表彰される勤続30年以上の受賞者は、3企業から3名が表彰され、また当商工会議所と事業所からの連名表彰は、勤続20年4名、勤続10年6名、計10名の方々が受賞され、林会頭から表彰状と記念品が授与されました。

【芦別商工会議所会頭表彰】

●永年勤続20年(4名)

片桐 里美(滝澤ベニヤ株)

佐々木マリ子(嶋産業株)

山間 由美(医療法人仁恵会 中野記念病院)

木綿 則昭(医療法人仁恵会 中野記念病院)

●永年勤続10年(6名)

美馬 哲夫(芦別鉦業株)

加賀 直樹(芦別鉦業株)

鈴木 聖也(芦別鉦業株)

半澤 和真(滝澤ベニヤ株)

大野 和夫(嶋産業株)

佐々木邦広(嶋産業株)

【日本商工会議所会頭表彰】

●永年勤続50年(1名)

尾形 晴男(嶋産業株)

●永年勤続30年(2名)

山川 猛(芦別鉦業株)

長谷川隆行(芦別商工会議所)

受賞された方は、次のとおりです。
芦別商工会議所会員従業員表彰者
(順不同・敬称略)

